

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 行動経済学に基づく個人的・集団的評価の数理モデルの開発

2. 個人研究者名

馬場 雪乃（東京大学大学院総合文化研究科 准教授）

3. 事後評価結果

本研究では、人間の評価が認知バイアスの影響によりゆがむことを避けるために、個人による評価や集団による評価集約の過程を、認知バイアスを考慮した数理モデルで表現し、数理モデルを用いて、個人や集団の判断や意思決定を正しい方向に支援する技術開発を目指した。

成果として、確証バイアスに対処して、多様な価値観に配慮した集団意思決定を支援する技術 CrowDEA を開発した。本技術により、単純な多数決では無視される、重要な少数意見の抽出が可能となった。また、機械学習を用いて、公平な人物評価の方法を人間に教える技術も開発した。

バイアス毎に、バイアス除去した結果推測モデルが提案できた点は評価できる。また、本研究成果は、集団の意思決定にかかわる重要なものであり、実用的な価値も高いと考える。

提案された手法は、示されたもの以外にも広範に応用があると思われる。例えば、論文の査読や研究費申請の評価などにも使えると思われる。今後の活動として、様々な分野の共同研究者とともに広く応用先を探してもらいたい。